VOL.350
8月号
発行日 2026/7/31
発行元 産業情報化新聞社
〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目14-25 京ニビル205号
TEL.06-6445-7405 FAX.06-6445-7406
©産業情報化新聞社 2026

MONTHLY
竹原編集長が元気な中小企業を応援します！
“日本一”明るい経済新聞
ビジネス・サクセス・ジャーナル BSJ

驚異の急成長！

発的な欠員が発生しても自社社員で即座にカバーできる万全の「即応体制」、そして24時間365日の「管理体制」を完備し、顧客から絶大な信頼を勝ち得ている。

そんな同社が描く未来の姿は、今後ますます増加する在留外国人の暮らしを包括的にサポートすることだ。今後は「衣・食・住」のすべてを支える「総合支援企業」へと本格的に変貌を遂げていく。在留外国人が安心して暮らせる環境を整えることで彼らの活躍を後押しし、日本の活性化を共に図っていく狙いだ。

この新たな在り方を実現すべく、現在はM&Aや積極的な海外展開も活発化。さらなる変革を加速させ、日本と外国人を明るく繋ぐ同社の一挙手一投足に注目だ。

在留外国人への総合支援企業

大量人数をスピーディーに集める機動力

CareEarth（ケアアース、☎06・6867・7957）は、外国人人材派遣業を軸に急成長を遂げ、今まさに「在留外国人への総合支援企業」へと進化を遂げている大注目のベンチャー企業だ。

CareEarth

大阪府中央区に本社を置く。代表は中村佳史さん。

設立わずか6年でグループ企業6社、従業員数約340人を擁する同社。前年度売上高は約78億円にのぼり、今年度は134億円の着地を見込む。

さらに5年後には「売上高500億円」という壮大な目標を掲げ、驚異的なスピードで拡大を続けている。その圧倒的な成長を牽引するのが、同社の主力である人材派遣事業だ。

登録スタッフはネパールやベトナム、ミャンマーをはじめとする数十ヵ国に及び、これまでに大手企業など計800社以上に派遣。大量人数をスピーディーに集める圧倒的な「機動力」、突

5年後売上高500億円へ

今夏快適職場環境を実現！

大阪紙器工業（☎072・695・1111）は、いち早く職場の熱中症対策に取り組み、今夏、快適な職場環境を実現。大風量スポットエアコン、路面に遮熱塗料の塗布、廃熱換気扇、工場屋根に遮熱シートや冷凍ゼリーなど幅広く対応、熱中症ゼロを目指している。

熱中症対策に取り組む
大阪紙器工業

大風量スポットエアコン

大阪府高槻市宮田町1丁目に本社を置き、2年後創業100年を迎える。段ボール、紙器、紙加工品、各種包装紙材の製造及び販売を行う。「健康経営を推進する中で、当社はいち早く熱中症対策に取り組み、快適な職場づくりを目指しています」と、平田顕社長。

従業員は約40人。天井付近では70度を超えるため、作業場では40度に達するところもある。数年前から快適な職場を目指して、空調関連の設備や機器、熱中症対策グッズへ積極投資を行う。

令和7年6月には大風量スポットエアコン2台を導入。今年3月には屋外作業場の路面に遮熱塗料を塗布。4月には、廃熱する機械上に専用廃熱換気扇を設置した。

5月にはフォークリフト4台とクランプリフト1台にリフト専用クーラーを取り付けた。7月には、紙を貼り合わせるコルゲーター棟、搬送棟の屋根に遮熱効果の高いアルミシートを設置。「輻射熱を97%カットしました」と。

アイススラリー（シャーベット状の飲料）、冷凍ゼリー、塩飴、ミネラルウォーター、工場事務所棟のシャワーも利用できる。熱中症対策として、設備投資額は数千万円にのぼると見られる。

「今夏は熱中症を心配せず快適に仕事に取り組んでいます」と、明るい職場環境を実現している。

路面に遮熱塗料、屋根に遮熱シートなど

ガチャビジネス市場に参入！

サキカワ（☎06・6768・3281）は、創業75周年を記念し、今年8月8日から社名を「サキカワプロ」に変更、新事業を一段と強化する。その第一弾で、通称“ガチャ”と呼ばれる「カプセルトイ」事業に参入、独自のアイデアでガチャビジネス市場を広げようとしている。

大阪市天王寺区空堀町に本社工場を置く。パッケージ化粧箱、店頭POP、紙製什器などを製造。従業員は15人で年商は約3億円。「75周年の記念の年。令和8年8月8日の末広がりの日から『サキカワプロ』に生まれ変わります」と、4代目の久保貴啓社長。

創業75周年
サキカワプロ
に社名変更

アクリルグッズなど多彩な商品を開発するが、社名変更をきっかけに“推し活”や街で人気の“ガチャ”など新たな文化を取り入れた新事業に取り組む。その第一弾が「サキガチャX」だ。

「ガチャはアニメや大手玩具会社系が展開しておられます。日本ガチャガチャ協会様から公認を取得し、中小企業の当社が参入できました」と。プラスチック製と独自の木製のマシーンを製作。展示会に出展すると、外国人や高齢者にも人気で大勢の人が集まった。

トイカプセルの企画にもこだわる。工場見学の最後にガチャし、魅力あるミニアクリルグッズが当たる企画は大盛り上がりした。また菓子屋では一定金額以上の購入でガチャができ、

独自の木製マシーンを製作

集客や売上げ↑アップに活用

多彩な非売品グッズがもらえるアイデアも。「ガチャで売り上げアップに応援したい」と、独自のガチャビジネスに期待している。

価格はプラスチック製で4万円から、木製（大サイズ）で9万円弱。年間100～200台の販売を計画している。

日本一明るい経済電波新聞

MBSラジオ AM1179 / FM90.6 毎週日曜日 あさ10:30～11:00
協力：池田泉州銀行

5/31 & 6/7 放送分

代表取締役 児玉 益子さん
株式会社コダマ

装飾メッキから機能メッキへ 合言葉は＂求道心＂

5月31日と6月7日は、コダマの児玉益子社長が登場。メッキの会社です。創業のお父さんが装飾メッキから機能メッキへ転換。その後を娘さんがしっかり守っておられます。大阪・関西万博では子供向けの金メッキ体験を実施。人気となりました。

6/14 & 6/21 放送分

代表取締役 道満 龍彦さん
オリバーソース株式会社

創業103年目 食卓を彩るウスターソースメーカーの仕事

6月14日と21日は、神戸にありますオリバーソースの道満龍彦社長が出演。昨年新社長に就任されました。どろソースが知られていますが、震災経験から熟成ソースの美味しさを再発見。総合調味料メーカーへさらなる発展を目指されます。

NHKテレビ おはよう関西 元気な中小企業

竹原編集長がリポートするNHKおはよう関西「元気な中小企業コーナー」

6月12日は「元気な中小企業～“シン・マチコウバ”計画とは！?」をテーマに今回は大阪市東成区で80年以上にわたって金属や樹脂の加工を行うモノづくり企業を紹介しました。

町工場の外観は、緑がいっぱいで、ガラス張りの開放感のあるオシャレな空間です。従来の暗い雰囲気の町工場のイメージは全くありません。

その理由は人材確保にありました。若い人材に来てもらうため、デザイン性を重視しかっこいい工場にしました。

デジタル購読
紙面で掲載された内容がnoteで毎月デジタル購読が可能！

SNS配信中 フォローお願いします。

弦楽器で100年企業！

時代のニーズに対応

タツノヤ商会（☎06・6623・3521）は、バイオリン系の弦楽器を扱う100年企業。修理工房、WEB販売など時代のニーズに対応、長期黒字体制を確立する。最近では、現金買取によるオールド楽器の仕入れにも力を入れている。

修理工房、WEB販売も

大阪市阿倍野区阪南町1丁目に本社、東京都渋谷区に東京営業所を置く。創業は1924年。「祖父が神戸港をベースに楽器を輸入販売したのが始まり。弦楽器、弓ケース、小物類も扱っています」と、3代目の岡田宗浩社長。父の後を継ぎ36歳から老舗楽器会社の経営に当たる。

バイオリンのほか、ビオラ、チェロ、コントラバスなど10数種類の弦楽器を楽器店、音楽教室の先生経由で販売。「年間6−7回は海外へ出かけ新品購入、オークションで仕入れます。低価格品からストラディバリウスまで扱っています」と。

長期黒字経営のタツノヤ商会

「修理工房、WEB販売（アイラブストリングス）など多様化戦略で、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍でもなんとか乗り切ることができました」と。毎年、海外を中心に社員慰安旅行を継続するなど、社員一丸で長く続く会社づくりを進める。

最近では、モダン楽器、オールド楽器の仕入れを強化。東京では3年前から奇数月の第2金土曜日に弦楽器の現金買取会を開催、続いて大阪でも今年6月10−11日に初めて開催。「今後大阪でも年2−3回は開催したい」と、多様な仕入れで1000台以上の日本一の在庫量を誇る。

現金買取を強化

20年前からは、修理事業にも参入し大阪本社ビル、東京では営業所とガーデンプレイス店（恵比寿）で音楽レッスンと工房を運営する。年商は18億円。従業員は約30人で、うち10人は修理工房の職人が占める。

ドライフルーツ・野菜事業に参入

福祉事業を展開するグローバルジョイント（☎06・6728・1486）は、「捨てられるのはもったいない」と、ドライフルーツ・野菜事業に参入した。工場では障がい者が活躍し、規格外のりんごでフードロス削減に取り組むSDGs対応プロジェクトで、協力企業を募っている。

障がい者が活躍しフードロス削減

福祉事業展開のグローバルジョイント

東大阪市太平寺2丁目に本部を置く。Gフレンズ（就労継続支援B型）、野うさぎ（放課後等デイサービス）、しんこきゅう（共同生活援助事業所）、ジョイントハート（地域活動支援センター）など、多彩な福祉事業を展開する。

その一環で昨年2月に大阪府八尾市に業務用の電気乾燥機2台を導入、当初は干し芋の生産を開始。その後、受注先の事情で干し芋生産はストップ。

プロジェクトへ協力企業を募る

「現在はりんご、オレンジジュースの自販機を全国展開するMEグループジャパン（埼玉県）様の協力を得て、規格外りんごの提供を受け、ドライりんごの生産をしています」と、柏木元社長。

50℃で20時間乾燥のしっとりドライりんご、70℃で20時間乾燥のカリカリドライりんごの2種類を生産。福祉マルシェなどで10g、20gの小口販売するほか、WEBで80g入りの大口ネット販売も行う。

ドライりんごについては今後OEM供給先を増やし、安定供給体制を確立したい考え。また、大根、玉ねぎ、人参、白菜などドライ野菜の生産も検討中。1日3−4人の障がい者が生産を担当、食品ロス削減と障がい者雇用のSDGsプロジェクトとして、参加企業を募集中だ。

患者さんに明るく向き合う！

かおる鍼灸整骨院（☎072・253・5571）は、堺市北区で今年開院30周年を迎えた。院長先生がワンオペレーションで全ての患者さんと向き合い治療、心身ともに元気にしてくれる明るい鍼灸整骨院だ。

心身と地域の元気づくりに貢献

堺市北区長曽根町3012−18、大阪メトロなかもず駅から徒歩15分にある。1996年の創業。「院名の“かおる”は、実は名字です。全国でも珍しい名前です。“かおる”ですが、“なおる”整骨院と覚えて欲しいですね」と、院長の薫真一郎さんは笑う。

大きな声と明るい笑顔が、トレードマーク。「あかん、あかんでは治りません。治ると自信を持って、家でもトレーニングして欲しい。絶対に良くなります」と、心の治療でも元気がもらえる。

30周年を迎えた「かおる鍼灸整骨院」

院内には、3台の施術ベッドのほか、牽引、ローラーベッドなどの器具が並ぶ。現在、スタッフは薫院長ただ一人のワンオペ。「身体のクセはそれぞれ違います。私の手には毎月約50人の患者さんの記憶があり、これが最大の強み」ですと。

低周波治療とホットパックでまず身体を温めてほぐし、筋肉を緩ませて施術する温熱治療で取り組む。親子2代で20年以上、ご主人のギックリ腰がきっかけで、今ではご夫婦で通う患者さんなど、地域の元気づくりに貢献する。

日祝休み、水土曜日は午前中のみ。平日は午前8時から12時まで、午後4時から8時まで。保険治療も可能。「楽になったと喜びの声が聴ける最高の仕事です。私自身も健康オタクを実践中で1日でも長く続けたい」と、明るく話している。

院長先生がワンオペで対応

伴走しながら元気経営サポート

STYLE NICO（スタイルニコ、mystyle25tayu@gmail.com）は、中小企業経営者の抱える課題を見える化し、伴走しながら元気経営をサポートする。全国の優秀な人材をリモートで活用する“ハイブリッド型組織づくり”を提案する。

STYLE NICO

2024年5月の設立。「金融、証券会社で18年間勤務、その後コンサル会社で勤務し中小企業の経営を学びました。そのノウハウを活かして社長さんを元気にしたい」と、代表の延命美紀さん。氏名の延命にあやかり、中小企業が100年以上持続できるサスティナブルな伴走を行う。

「大変化の時代、中小企業には厳しい風が吹いています。でも、チャンスに変える絶好の機会でもあります。働き方改革に特化した人材採用、育成に取り組んでいます」と。岡山に本部を置く一般社団法人中小企業働き方支援協会の認定営業パートナーとして幅広く活躍する。

ネットで30分間の無料動画「ライブオフィス体験会」は、DX・AI活用編、人材採用・育成編、福利厚生編などがある。その1つにハイブリッド型組織づくりがあり、延命さんはイチオシで支援する。

課題を見える化

“ハイブリッド型組織づくり”を提案

「リモートを活用すれば、遠方の人材でも立派に活用できます」と。岡山の㈱ワークスマイルラボを例に挙げ、ハイブリッド型組織を呼びかける。LINE公式アカウント構築・支援によるDX戦略、福利厚生の一環で介護や障がい者、がん患者など経済的に困っている社員へのファイナンシャルウェルフェアサポートも実施する。

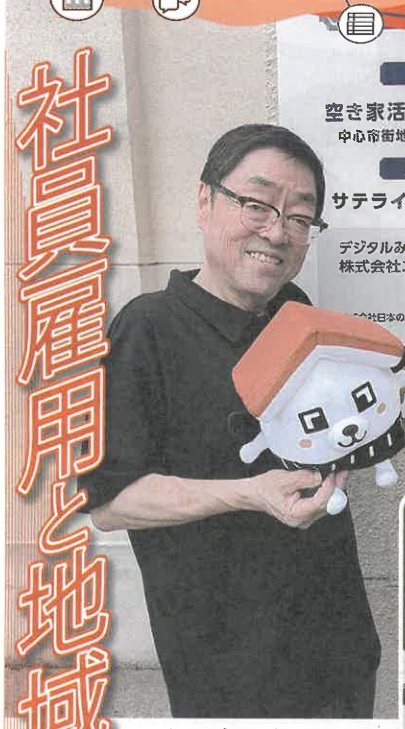
◆個人の株保有過去最高…日本銀行が発表した2026年1−3月期の資金循環統計によると、3月末時点の個人が保有する金融資産残高で株式は前年度比28・6%増の398兆円となった。NISAの普及で過去最高に。

◆H3再挑戦に成功…日本の主力ロケット「H3」が、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられた。ロケットは予定通り軌道に投入され超小型衛星を正常に分離させた。半年ぶりの打ち上げ。

デジタル購読 紙面で掲載された内容がnoteで毎月デジタル購読が可能！

地元で注目！

社員雇用と地域活性化に貢献



大阪市中央区北浜1丁目に本社。沖上俊昭社長が創業した関西デジタルソフトからAI事業を分離し、2022年に新たに設立したスタートアップ企業だ。従業員は15人で、コミュニケーションロボット、コロナ禍では街中のマスク着用率をAIで計算するシステムを開発した。

倉吉市では2024年からサテライトオフィスの誘致を行っており、2025年10月1日に進出企業第一号として倉吉で活動を開始し、12月1日からはくらしごとBASEに拠点を移し活動の幅を広げている。倉吉市との調印式では、NHKテレビでニュースになり、大きな反響を得た。

「地元の経営者さんとも話し合いました。AIに強い企業がなく、お役に立てると感じました」と、沖上社長。観光施設案内ロボットの導入、和菓子店でAI活用の食品ロス削減、観光エリアへのLINEを活用した集客など多彩な開発を進める。

また、AI画像解析で独居老人の見守る機器の開発にも力を入れている。

AI画像処理による道路破損チェックの開発も進めている。「将来、こうした技術は全国でも使え、ビジネスの可能性は大きい」と期待する。

現在、営業担当で男性1人を現地雇用し、インターネットの接続や、Word、Excelの指導等の簡単な内容であればボランティアで行うなど、地域の皆様に親しまれるように活動している。「今後、大阪と倉吉を繋げた幅広いビジネスが生まれそう」と、地元との交流を深めている。

倉吉市にサテライトオフィス

大阪市に本社を置きＡＩ事業を行う、デジタルみらい（☎０６・４７０８・５５１０）は、鳥取県倉吉市にサテライトオフィスを設置、地元を巻き込んだ明るい事業に取り組む。市役所に案内ロボットの導入、地元企業にＡＩシステムによる効率化の提案、地元社員の雇用と地域活性化に貢献、地元で注目を集める。

大阪市のデジタルみらい

市役所に案内ロボットの導入

夢の実現！「YOUNG IMPACT」を展開

Meta Osaka（☎06・6227・8855）は、中小企業経営者がドリームパートナーとして伴走する中高生起業家育成プログラム「YOUNG IMPACT（ヤングインパクト）」を展開する。7月には2期生3人を選出し、今後1年かけて徹底的に支援し夢の実現を応援する。

大阪市中央区難波5丁目なんばスカイオに拠点を置く。毛利英昭さんは、不動産業のリンクス社長として活躍する一方、2023年9月には「大阪を世界一おもろい都市に」とメタバース会社を設立。

Meta Osaka

大阪城トライアスロン、夢洲超花火など毛利社長個人活動のほか、音楽フェスなど多彩なイベントも企画し、大阪の元気づくりを支援する。道頓堀商店街などリアルな場所でゲーム、eスポーツなどで集客し盛り上げる。

中高生起業家育成プログラム

経営者がドリームパートナーで伴走

その一環で昨年10月10−11日には子供の夢を応援する「こども万博2025」を開催、4年前から合わせ延べ10万人の大イベントに成長。それがきっかけで中高生起業家育成プログラム「YOUNG IMPACT」を展開する。

今年5月から3期生の募集、7月11日には2期生のファイナルステージを開催し、3人を決定した。「別名こころざし甲子園です。伴走役の現役社長が“ドリームパートナー”となり、中高生の夢を叶えてくれます」と、毛利社長。

1年間にわたり、資金、人脈、時間をかけて応援。すでに1期生2組では、難民支援の法人会社設立、ゲームクリエーターとして活躍している。現在、ドリームパートナーは約30人で、限定100人まで増員する計画。法人サポーター、個人サポーターも募集中だ。

人と環境にやさしい！金属加工液

天彦産業（☎06・6262・1875）は、人と環境にやさしい金属加工液「SYITT OilWater（エスイットオイルウォーター）」を販売する。作業環境改善、SDGs貢献、生産性向上などの特色を持ち、3年以内にも全国200社への導入を目指す。

天彦産業

生産性向上などで導入増やす

低減し、ミストコレクターが不要になり、電力コストの削減、清掃の手間が省けるなど作業環境の改善が進む。

また、防腐剤・鉱物油ゼロ、廃油処理コストやCO_2削減などSDGsにも貢献する。さらに冷却性、洗浄性、潤滑性を高めて加工効率を改善。摩耗を抑えて工具寿命を向上させるという。

心臓部のアルカリ電解水のPH12・5のPH調整については、自社の南港CSセンターで製造、需要に対応した生産体制を確立。すでにトライアル、サンプル含めて約40社が導入し効果を得ている。「今後は大手企業へもアプローチし、3年以内に200社の導入を目指したい」と、伊藤一成開発課課長は期待している。

作業環境改善、ＳＤＧｓ貢献

お好み焼きが売り！食泊施設

大阪のお好み焼き店、ゆかり（https://www.yukarichan.co.jp）は、大阪市城東区に初の宿泊施設「O3（オースリー）HOTEL+STAY TEPPAN ART」をオープンした。こだわりの鉄板を設置、お店のお好み焼きがホテルで体験できる。

ゆかりが大阪市城東区にオープン

北区曽根崎のお初天神通りに本店を置く。昭和25年創業の老舗お好み焼き店。大阪風味のお好み焼き粉を独自に開発し自家製ソースで多くのファンを持つ。

「お好み焼きを食べながら会話が弾む“鉄板コミュニケーション”は日本の食文化。多くの人に広めたい」と、4代目の山下真明社長。宿泊施設でお好み焼きを売りにする大阪らしい食泊ビジネス。

宿泊施設は、城東区蒲生1丁目8−4JR東西線京橋駅から徒歩2分の下町風情の残る古民家をリノベーションした一軒家。2階建て延床面積は約50㎡。運営代行会社はグレートステイ。

旅館業法許可取得しており、1泊から利用できる。1階のリビングのテーブルには、店舗仕様のこだわり鉄板が組み込まれ、一度にお好み焼きが4−5枚を焼ける。ゆかりの「お好み焼粉付き、手作りセット（5人分）」も置かれている。

ゆかりが大阪市城東区にオープン

秘伝のレシピ、お店の味を体験

秘伝のお好み焼きレシピも公開、プロの味が楽しめる。1階には信楽焼の浴槽も設置。壁や棚にはアート作品も飾られている。2階はベッドルーム2部屋。大画面のプロジェクター付きの壁面、アメニティなども充実。宿泊者は最大5人。

来年には、此花区で宿泊者10人以上、淡路島で高級ヴィラ感覚の施設も計画中。予約はWEBサイトから。

中小企業を応援する！竹原信夫のYouTube 成功の法則！元気な企業に共通する「あいうえお経営」とは？！

◆関西エア最高益…関西、大阪、神戸の3空港を運営する関西エアポートが発表した2026年3月期の連結決算は、営業利益前期比11％増2713億円、最終利益が9％増の402億円で、いずれも過去最高を更新した。

◆AI活用サイバー防衛…ソフトバンクグループ（SBG）は、米オープンAIの高性能な人工知能を活用したサイバーセキュリティ対策サービスを始めると発表した。金融機関、電力、通信などの重要インフラに提供する。

世界中にクラスメイト!

累積1万2500人の子供に授業

堺市堺区中瓦町1丁目に本社を置く。元IT企業出身である社長・CEOの井坂浩章さんが2021年5月に創業。井坂さんは、日本人が英語を学ぶ「フィリピン留学パイオニア校CNE1」を16年前に設立、先生と生徒がマンツーマンにより低コストで学べる留学制度を考案した先駆者。

その後、コロナ禍で学校運営が閉鎖。

オンライン、リアルの経験を活かし、新たに仮想空間でアバターとして授業が受けられる「2Dメタバース教室」をスタートした。オンライン英会話・国際交流、海外の現場と繋がるオンライン海外探究などの交流を深める。

このほか、フィリピンなど現地で対面し人・文化・社会に触れ、探究を深める。AI評価・発表・成果の可視化なども行う。英会話×異文化、理解×国際交流など学校、自治体、個人で参加者を集めている。スタッフは約70人でフィリピンの先生、全国のスタッフがオンラインで対応する。

マンツーマンの週1回レッスン（50分）は、月4回で8800円とリーズナブル。個人や社員研修としても受講できる。「現在はフィリピン中心だが、今後はマレーシアでも展開したい」と、準備を進めている。

Classmate（https://www.classmatejp.com/contact/）は、「世界中にクラスメイト！」をキャッチフレーズに2Dメタバースを活用したオンライン英会話、国際交流、異文化体験サービスを行う。累積1万2500人の子供たちが授業を受けており、社員研修などにも活用できる。

2Dメタバースを活用

年間再生土は1万m³

進光運輸（☎072・649・0339）は、公共、民間建築現場での建設発生土の処分をメインに行い、建設発生土を再生土にする再資源化も行っている。

進光運輸

年間再生土は1万㎥に及ぶ。最近では一般家庭の“庭しまい”などから排出される残土の引き取りサービスを開始、月間200袋を受け入れ喜ばれている。

大阪府茨木市東安威2丁目に拠点を置き。創業して約30年。「祖父は砕石場の仕事をしており、1970年に岐阜から茨木市に移転。生コン用、アスファルト、路盤材の砕石販売、建材部では建設発生残土の中間処理の仕事をしています」と、3代目の中村徹社長。

公共工事で発生した残土は、振るい機にかけてガレキ、草、ゴミなどは取り除き、認定を受けた再生土として使われている。民間建築現場の発生残土も山に戻されているのが現状だ。

再生土へ再資源化挑戦

家庭残土の引取りサービスが人気

「ガーデニングなどをされる一般の方から、要らなくなった土を引き取って欲しいという声が相次ぎ、残土処分に困っておられます」と中村社長。そこで、事業よりボランティアとして残土を受け入れ、今では地元住民の要請で毎月20−30人が残土を持ち込み、約200袋が集まる。

料金は1袋25Kgで引き取りは500円（税別）。持ち込みは350円（同）。出張料金は近場なら2000円とリーズナブルな値段で受け入れる。

「老人ホームへ引越したり、お庭づくりをやめられて、たくさんの残土処理に困っておられます。残土の受け入れは高齢者に喜ばれています」と、残土処理が地域貢献にもつながっている。

障がい者の明るい暮らしをサポート

カンエ薬局（☎06・6195・1456）は、障がい者に特化した在宅訪問特化型薬局を行う。大阪市内、大阪府南部エリアを中心に約100人の患者さんに300−400種類の薬剤を提供、障がい者の明るい暮らしをサポートする。

カンエ薬局

大阪市淀川区西中島4丁目のビル3階に店舗を置く。近畿厚生局の保険薬局、大阪市の薬局開設許可証を取得して営業を行う。

「在宅訪問専門薬局では高齢者の患者さんを主力にするところがほとんど。当店のような精神・身体障がい者をメインにするところは少ないです」と、代表の松本朋子さん。障がい者の服薬状況が悪い現状を知り、2019年9月から精神・身体障がい者をメインにした在宅訪問で薬を提供するサービスを始めた。

西中島の本店で大阪市内全域をカバー、2年前には住吉区長居東に長居公園前店をオープン。これにより、羽曳野市、松原市、堺市などもカバーして薬を届ける。

サービスを受ける障がい者は約100人で、薬の種類は300−400種類にのぼる。病院で処方箋が受け取ったら写メしてLINEで送ってもらうと、薬を揃えて障がい者宅へ毎週、毎月提供。飲み忘れなどのないように訪問看護師、ヘルパーなどと連携を深めている。

「飲み間違いもあり、医師を含め周りの支援者と連絡を取るなどスタッフ一丸で最適な対応を心がけています」と気を配る。今後、九州、中四国、関西エリアでのFC店も構築したい考え。

約100人の患者に300−400種類提供

大阪市内、大阪府南部エリアを中心

目指す!“挑戦的なアートの拠点”

BALC（☎080・6545・8417）は、コンテンポラリーアートを中心に扱うギャラリー。令和7年4月、大阪市西区土佐堀2丁目1−6にオープンした。カフェを併設し、音響にもこだわることで、作品を空間全体で体感できる“挑戦的なアートの拠点“を目指している。

大阪・土佐堀のギャラリー BALC

BALCは「Base Art Leisurely Culture」の略。「茶をしばきながら、身近にアートを楽しめる場所にしたかった」とCEOの山﨑博友さんは話す。

山﨑さんはもともと現代アート作品のコレクションを趣味としており、その活動が高じてギャラリー開設に至った。大阪のアートシーンを盛り上げたいという思いから、以前は倉庫だった場所をリノベーション。「作品を美しく見せる空間を大切にしたい」と、約40坪の広々とした空間を作り上げた。

展示はおよそ1カ月ごとに入れ替わり、国内外を問わずさまざまなアーティストの個展を開催。また、海外展開にも力を入れており、世界的な芸術祭『ヴェネチア・ビエンナーレ』の開催時期に合わせて現地の国際美術展へ出展するほか、韓国・ソウルやドイツ・ベルリンのアートフェアにも出展するなど、国境を越えた活動にも取り組んでいる。

カフェを併設、音響にこだわる

8月12日まで、当ギャラリー所蔵作品によるコレクション展を開催中。「アートは世界の共通言語。今後はアートを軸にしたグローバルビジネスにも挑戦していきたい」と山﨑さんは話している。

コンテンポラリーアートを中心

◆任天堂29年に研究開発拠点…任天堂は本社隣接地に新設する技術開発棟の概要を発表した。地上9階、地下1階建てで延べ床面積は約4万9000㎡。建設費は1210億円で、2029年3月の完成を予定している。

◆中古マンション25カ月連続最高値…不動産調査会社の東京カンティは、東京23区の5月の中古マンション平均価格は、70平方メートル換算で前年同月比27・4%上昇の1億2849万円だった。25カ月連続で単月として最高値を更新。

ネコリーノブランド発売

明機商事（☎０７２・２２１・４８４８）は、価値創造のファブレスメーカーとして、靴、メガネなど多彩な商品を開発、販売する。人工ダイヤのジュエリー商品販売に続き、６月末から可愛いネコちゃんの機能性婦人靴“ネコリーノブランド”も発売、売り上げアップを目指す。

人工ダイヤのジュエリー商品

価値創造のファブレスメーカー

可愛いネコちゃんの機能性婦人靴

大阪府堺市住吉橋町に本社を置く。創業は1971年。「社名の明機は“明るいチャンス”と読めるラッキーな名前です。無店舗販売専門の問屋で、通販カタログ向け卸の先駆者的な会社です」と、村田宏一社長。

靴やメガネなど多彩な商品を生協やテレビショッピングなど幅広い販路を活用して販売。最近ではオンリーワンの自社商品の開発に力を入れる。

売上比率は靴関連が60−65%、メガネ20％前後、その他20％弱。2020年ごろからは骨格ボディメイクの開発者である三木まゆ美先生と連携、特殊インソールが入った婦人靴「モナベリッサ」がヒットする。

「姿勢を改善し若返る靴です」と。景品付きのムック本、WEB販売、通販などを駆使して販売実績を伸ばす。

今年からジュエリー市場にも参入し、人工ダイヤモンド「ラボグロウンダイヤモンド」も販売。6月からは肉球シルエット入りの靴「ネコリーノ」も発売した。機能性インソール内蔵で、撥水加工、外反母趾でもはきやすい。価格は9840円から。クラウドファンディングで販売中。「来春にはサングラスフレームにネコ柄を加えたネコリーノサングラス、播州織のネコリーノストールも発売したい」と、“ネコリーノブランド”を強化する計画。

明機商事

障がい者の焙煎士が活躍！

一般社団法人地域スポーツ教育CSR（☎06・6678・2919）は、就労継続支援B型事業所として大阪市住之江区と住吉区で珍しい珈琲焙煎作業所を運営。障がい者の焙煎士が活躍、生豆を仕入れて選別、焙煎、OEM供給、販売など、身近なコーヒーで楽しい仕事環境を実現する。

(一社)地域スポーツ教育ＣＳＲ

大阪市住之江区住之江一丁目に事務所を置く。4年前に就労継続支援B型珈琲焙煎作業所SRMをスタートした。代表の瀬戸彬仁さんは、サッカーからフットサル全国リーグで活躍したスポーツマン。

子どもたちの指導にも取り組む中、精神的に悩む子どもと出会う。「その時浮かんだのがフットサルでブラジル遠征した際のコーヒーの楽しみ方でした」と。頭の中で福祉とコーヒーが合体し、両者を本格的に学ぶことで、珈琲焙煎作業の福祉施設が誕生した。

住吉大社前に自家焙煎カフェをオープン

住之江区と住吉区で就労継続支援Ｂ型事業所運営

住之江区に続いて2年前には、住吉区長峡町の参拝客で賑わう住吉大社前に自家焙煎カフェ「SRM Coffee NO, 2」をオープンした。店頭にはロート製薬かるがも基金より寄付された国産焙煎機を設置、老舗珈琲問屋「島野珈琲」から仕入れた生豆を焙煎する。

住吉店では、コーヒーが飲める（住吉ブレンド600円）ほか、チーズケーキやチョコテリーヌなどスイーツも揃える。

現在、事業所の登録利用者は2店舗で約40人、1日平均20人が働く。焙煎士5−6人のほか、規格外豆を取り除く選別作業などで利用者が活躍。コロンビア、ブラジルメインブレンド、カフェインレス、ブラジルセラードスペシャリティなど高品質な珈琲豆を揃える。

ドリップパックに加工した商品もあり、大手企業などにOEM供給、国立競技場でも販売され人気だ。

高知県産新米「南国そだち」を販売

幸南食糧（☎072・332・2041）は、7月26日に松原市三宅西の本社工場前で毎月恒例の「蔵出し玄米販売市」を開催した。会場では、大型扇風機を用意し「熱中症」対策をして挑んだ。

「蔵出し玄米販売市」は、2015年から行っており、今年で12年目になる。

今月の目玉は、関西地域で最速販売された高知県産の新米「南国そだち」。蔵出し玄米として初入荷し、新米を待ちわびた多くの来場者で賑わった。

「南国そだち」は、高知県中部・南国市を中心に栽培される品種で、大粒で丸みがあり、炊き上がりはふっくらとした食感とほどよい粘りが特徴。低アミロース米のため、冷めてももちもちとした食感が楽しめ、どんなおかずにも合わせやすいことから人気を集めているお米だ。

新米の時期にしか味わえない希少なお米として、来場者からも高い関心が寄せられた。

当日は約100名が来場し、松原市内はもちろん、大阪府内外からも多くの人が訪れた。

販売は30kg袋単位で販売、約400俵分の玄米を用意。購入者は併設されたクボタ製コイン精米機を利用し、標準・上白・クリーン白米のほか、3分・5分・7分づきなど好みに合わせて精米し持ち帰った。

なお、玄米販売市は毎月最終日曜日に開催されており、全国４～５産地の玄米を販売している。

詳しくは、QRコードを読み取り、公式LINEに登録し、ご確認してください。

その他、生産者やJAなどと連携し、産地視察や田植え・稲刈り研修、店頭販売、SNSキャンペーンなどを通じて、お米の価値や魅力を発信にも力を入れている。

「蔵出し玄米販売市」約100名が来場

2015年スタート 今年で12年目

登場！ケーキ屋さんのかき氷

大阪府堺市のSINCÈRE（サンセール、☎072・280・4880）は、フランス、ドイツ菓子など、こだわりの生ケーキや焼き菓子が並ぶ。コンテストでの受賞歴も豊富で、今夏からこだわりの“ケーキ屋さんのカキ氷”も登場し人気だ。

堺市北区百舌鳥梅町3−21−17、2025年7月に大阪メトロなかもず駅から徒歩10分にオープンした新しいお店。「サンセールとはフランス語で誠実という意味。お菓子づくりに誠実に向き合っています」と、オーナーの宮野彰裕さん。

オシャレな外観、店内は白で統一した明るい雰囲気。その奥には、焼き菓子を中心にしたシックなコーナーが続く。毎日それぞれ10数種類の生ケーキ、焼き菓子が並ぶ。「空気を含ませたきめ細かなスポンジ、バター100%のクッキーにもこだわっています」と。

ベルギーチョコブランド「ベルコラーデ」主催のジャパンアワードで準優勝（2013年）の表彰状も飾られている。「苺のショートケーキ」（550円）、和

こだわりの生ケーキや焼き菓子

大阪府堺市のSINCÈRE

受賞歴も豊富

歌山産スモモを使った「早生大石のタルト」（650円）など、その時期に合わせたフルーツケーキが人気。

焼き菓子では、可愛いオリジナルマドレーヌ「ルル」も女性客に喜ばれている。この夏からは、珈琲とチョコの組み合わせ、パフェのようなカキ氷も始めた。イートイン4席、入り口のベンチや「裏の公園にもベンチがあります」と、ケーキ屋さんのカキ氷が注目だ。

◆万博経済効果3・5兆円…アジア太平洋研究所（ＡＰＩＲ）は、大阪・関西万博の経済波及効果の最終集計を発表した。それによると、3兆５１２１億円に上った。会場建設費などが増え昨年12月時点より５０００億近く増えた。

◆夏ボーナス初の100万円超…経団連は、大手企業の夏のボーナス妥結額の第一回集計を発表した。平均妥結額は前期比１・88％増の１００万８７０６円で初めて１００万円の大台を突破した。

浸水被害の大きな武器に！

土嚢代替の樹脂製簡易型止水板

軽くて簡単設置、漏れを防ぐ

加古川市のフジ鋼業

国内外で年間10万台以上の導入実績

フジ鋼業（☎０７９・４２２・２０３８）は、浸水被害が相次ぐ中で、土嚢に代わる樹脂製の簡易型止水板「フラットガードF」を開発、注目を集める。軽くて簡単設置できるのが特色で、国内外で年間１０万台以上の導入実績を誇る。

兵庫県加古川市野口町に本社工場を置く。今年で創業61年目。工作機械、草刈刃、農機具メーカーへ事業を拡大。従業員約10人で年商は3億3000万円。

「海外で見つけた未完成な製品でしたが、モノづくりノウハウを活かして洪水時に威力を発揮する止水板を独自に開発しました」と、3代目の藤井健吾社長。ABS製の樹脂素材で、重い土嚢に代わり簡単に設置できるのが最大のメリット。

高さ50×横70cmのL字型の構造体で、4・4kgと軽く、土嚢なら18袋分に匹敵する。「水圧の力で止水板は設置すると動きません。一般家屋だけでなく、工場や倉庫にも繋ぎあわせて長いラインでも設置。工事不要、数分の設置で止水効果があります」と。

キャッチクリップで幅を自由に調整、端部分はスライド構造でピッタリの位置にセット。突っ張り棒の機能を活かしたフィッティングバーで壁の隙間を無くして漏れを防ぐ。高さは1・2mまである。

市販価格は1台3万円前後で、使い捨ての土嚢に比べて安い。止水板を組み合わせて貯水槽もつくれ、リチウムイオン電池発火対応にも使われている。「今後海外販売にも力を入れ、3年後には国内外で50万台を見込む」と、今後の普及に期待している。

「感動する、着物ドレス」発売！

不要の着物をドレスに再生

静京

静京（しずきょう、☎06・6761・6764）は、創業80周年を記念して不要になった着物をドレスに再生した「感動する、着物ドレス」（商品名）を7月から発売した。着物はできるだけハサミを入れず、一度ほどいて洗い、仕立て直すことでオシャレなドレスに変身（一部戻せないケースあり）、元の着物に戻せる究極の“アップサイクル着物”で、話題を集めている。

大阪市中央区谷町6丁目に店舗を置く。「1946年に祖父がこの地で洗い張り職人として創業しました。着物に関連した悉皆（しっかい）という総合プロデュース業も担い、仕立て、紋入れ、染めなど各職人と提携して着物を生かす仕事をしていました」と、3代目の小西由夏さん。

戻せる究極の“アップサイクル着物”

現在も10数者の業者と一緒に悉皆をメインにしながら、呉服販売や着物素材を活用したバッグ、日傘、テディベアのぬいぐるみなど15種類のリメイク品の受注（オーダーメイド）も行う。80周年を迎えた今年、ハサミを極力入れずに元の着物に戻せる着物のアップサイクルドレスに挑戦、今回商品化に成功し7月から発売した。

例えば黒留袖の場合、ほどいて洗い直したのち、ハサミを入れる箇所を最小限にとどめ、着物本来のパーツを最大限に活かした小西さんの考案の再生手法で、協力業者と一丸でオシャレなドレスに仕上げる。

鶴や桜などのデザインを活かし、その人の体型に合わせたオーダードレスができ上がる。ドレスのほか、ジャケット・ジレもあり、手持ちの着物でオーダーできる。料金は13万5000円から。注文から3カ月で納品する。初年度50着の販売を目標にしている。

地元がたっぷり味わえる

ビストロ風の魚介、野菜メニューも

神戸市のyucra（ユクラ、☎078・958・6776）は、兵庫の野菜や淡路牛をメインにした鉄板料理店。牛ステーキだけでなくビストロ風の魚介、野菜メニューも豊富で、シメの淡路産しらすレモンガーリックライスと地元がたっぷり味わえる。

神戸市中央区中山手通1丁目の互陽ビル3階、JR三ノ宮駅から徒歩5分に令和8年1月にオープン。「焼肉、鉄板焼きのお店はたくさんあります。ほとんどは神戸牛1本で勝負されています。でも、うちは淡路牛をメインに地元の食材をたっぷり使いリーズナブルな値段で提供しています」と、店主の宮崎真司さん。

兵庫の野菜や淡路牛をメイン

神戸市中央区中山手通のyucra

店内はカウンター7席と最大5人のテーブル席1つ。シンプルなイメージのお店だが、鉄板焼きとビストロ店で18年間学んだ多彩な料理が出てくると、豪華な雰囲気に色づく。

メニューは豊富。野菜では、六甲のジャンボマッシュルーム鉄板焼き（990円）、さつま芋のはちみつゴルゴンゾーラ（660円）。魚介類では仙鳳趾蒸しカキ海藻バター（２ヶ1320円）、丹波鶏ものパリパリ焼き（1210円）、淡路牛塩タンネギまみれ（1980円）。

ステーキでは、ハネシタ（肩ロース）を1本仕入れ、淡路牛ハネシタステーキ（120gで2750円）や黒毛和牛ランプステーキ（同2970円）などが選べる。ドリンクでは赤白ロゼワインだけで約30種類揃える。定休日は日曜日。午後6時から10時まで。

日本酒と肴メニューが人気！

店内で飲める角打ちスタイルが人気

上田（☎06・6921・3653）は、大阪市都島区で個人向け及び全国約100店舗の酒販店に日本酒を販売。本店麹レストランに続き、大阪市北区で店内飲み“角打ちスタイル”の店舗も展開、日本酒と肴メニューが人気を呼んでいる。

都島区都島本通1丁目に本店を置く。90年の歴史を誇る老舗酒店で、梅酒に絞ったEC販売「梅酒専門店」をネット展開する一方、本店では酒粕、糀を使ったレストランも運営する。

大阪市北区天神橋に「糀」店

全国に日本酒を販売する上田

2017年に大阪・ビジネス街のど真ん中である大阪市北区天神橋2−5−31、JR東西線大阪天満宮駅徒歩1分に「糀（コメノハナ）」（☎06・6926・4059）を開店。日本酒、焼酎、梅酒と300種類以上を揃えて販売、店内で飲める角打ちスタイルが特色。

「京都の自社工場で糀からつくり、お酒のアテになる多彩なメニューを用意しています」と、上田千咲代取締役。完熟トマトの吟醸酒粕（480円）からカマンベールチーズの醤油麹漬け（760円）、麹ローストビーフ醤油わさびソース（780円）など逸品メニューが並ぶ。

鍋島特別本醸造（お酒グラス480円）、鳳凰美田純米吟醸大地（ちょっとエエお酒グラス680円）などの日本酒、焼酎、梅酒も多彩。25種類の日本酒から4種類飲み比べできる4杯ヒトマス（1600円から）、制限時間60分でおかわりし放題（1980円）のお得なコースもある。

テーブル、カウンター12席と数人の立ち飲みスペースがある。月曜日定休。土日は午後1時から飲食でき、女性や若い人で賑わう。

AIの日常使い！

身近なAIの活用方法を披露

共創の会 続・AI活用事例セミナー&ビジネスマッチング

日本一明るい経済新聞が協力する共創の会（☎090・9277・9123）は、このほど大阪市内で第68回を開催。「文系のAI日常使い、3年半のリアル」をテーマに日新化成工業取締役社長室長の片岡亜允さんが講演した。事務処理などに役立つ身近なAIの活用方法を披露した。

片岡さんは、AIの初期段階からビジネスでの具体的な活用に挑戦。集配業務の整理方法、新商品とAIモデルを組み合わせた映像制作などを紹介した。

続いて、AI勉強会「続・AI活用事例」としてAI竹原編集長の実演デモ」、「FAX等の紙をAIが読み取り、受発注業務の作業削減」「社内報アプリの実演デモ」が行われた。

ビジネスマッチング会では、オプトエレクトロニクス社が「光・レーザー関西2026展示会（7月15−16マイドームおおさか）」を説明するなど5人が発表。その後、自己紹介タイム、名刺交換し異業種交流を深めて新たなビジネスのきっかけを探った。

◆税収過去最高84兆円…財務省によると、令和7年度の国の一般会計税収が84兆2000億円となり、6年連続で過去最高を更新した。6年度比で約9兆円の大幅増となる。好調な企業業績で法人税が伸びた。

◆年金運用41兆円超黒字…年金積立金管理運用独立行政法人は、2025年度の運用実績が41兆3995億円の黒字だったと発表した。6年連続の黒字で過去2番目に高かった。国内外の株価上昇。

魚のおいしさ楽しさを提供

多彩なイベントを実施

カギヤ(☎06・6353・0031)は、大阪・天満市場で鮮魚・塩干物の卸小売を行う。“お魚屋さんかぎや”を屋号に多彩なイベントを実施し5月には「お魚こどもチャレンジ」を開催、100人を超えるこどもたちにお魚をプレゼントしコミュニケーションを深め、魚のおいしさ楽しさを提供した。

大阪市北区池田町のぷらら天満B1に店舗を持つ。佃煮、煮豆の鍵谷商店で創業、塩干物から鮮魚へと業容を拡大。2019年には4代目の鍵谷能成社長が（株）カギヤを設立し、社内体制を強化した。

従業員は20人強。2025年には創業90周年を迎え、2035年の100周年に向かって元気な経営を進めている。鍵谷社長は全国を回って構築したネットワークを活用、鮮魚と塩干物で目利きできる4人の仕入れ担当が選別した商品が店頭に並ぶ。

お魚屋さんカギヤ

こどもたちにお魚をプレゼント

知識豊富なスタッフが対面販売で提供、活気あふれる。

コミュニケーションを深める

「魚の美味しさをもっと知ってもらいたい」と、年間数件のイベントを開催。その1つ、未来に魚文化を残そう！と5月には「お魚こどもチャレンジ」が開催。今年も5月9日から31日まで行われた。

幼稚園児から小中学生を対象に1人3匹の鮮魚がプレゼント。今回はクラウドファンディングにも挑戦し、応援缶バッチ42個を販売した。子どもたちが家族と一緒に魚をさばき、楽しく料理している動画がお魚こどもチャレンジ公式Instagramなどでも配信されている。「鰻の日のように全国の魚屋さんでも、魚の日として広がって欲しい」と全国普及を目指している。

「うめだ健診プラザ」オープン

医療法人大阪健昌会は、この春に大阪駅近くの北区大深町に「うめだ健診プラザ」（☎06・6373・7000）をオープンした。完全な男女別フロア、ホテル以上の豪華設備、ラグジュアリーな人間ドック・健康診断施設で、中小企業の元気づくりをサポートする。

医療法人大阪健昌会

ラグジュアリーな健康診断施設

大阪健昌会は3年前に日本健康管理協会グループに入り、うめだ健診プラザは大阪では4カ所目、全国で18カ所目の施設。大深町2−2プライムゲート梅田の2・3・4階にあり、1日600人−700人受け入れられる西日本では最大規模の施設だ。

2階のひと休みできるカフェテリアは落ち着いた雰囲気で、フリードリンクとお菓子付き。MRI／CTの検査もできる。3階は女性専用、4階は男性専用フロアに完全分離。女性フロアは、ドクター、スタッフも全員女性で気にせずリラックスして受診できる。

エレベーターホール、受付、待合室などには、こだわりのインテリアが並び、ゴージャスなイメージ。女子更衣室はひときわ充実。着替えシャツはベージュ、ラベンダーなど4色、ズボンはピンク、ネイビーなど3色で組み合わせ自由。髪の毛セット、化粧のパウダーコーナーはオシャレだ。

完全男女別フロア

最近では人間ドッグのニーズも増えており、最新鋭の検査機器を揃えている。「社長さんは忙しくてなかなか受診されない方も多い。でも、ここでくつろぎながら健診していただき元気パワーを充電して欲しい」と、畑山陽子うめだ健診プラザ事務長。多彩なコースを用意、施設見学もできる。

約3坪の小さなお店！

ベトナム産コーヒーがイチオシ

ネコグラ珈琲焙煎所（大阪府高石市）は、ベトナム産の珍しいコーヒーがイチオシという約3坪の小さなお店。珈琲豆の販売、テイクアウト、店内で肩を寄せ合い地域密着でワイワイ楽しく飲めて終日賑わう。

高石市千代田1丁目6−2、高石小学校の向かいにあり、2024年9月にオープン。「以前は浜寺のサーフショップで昼間だけ間借りして始めました。やっと私たちのお店を持てました」と、共同経営者の山尾拓真さんと立里悦子さん。

COFFEE_STAND_NEKOGRA

ワイワイ楽しく飲める

高石市千代田のネコグラ珈琲焙煎所

コンパクトな店内には、厳選した世界の珈琲豆、珈琲の個性を引き出す直火型の小型焙煎機、カウンターと4席のスタンドタイプのイスが並ぶ。「4人以上になると立ち飲みスタイルで飲んでもらいます。お客様の近さが特色です」と、店内はお客様同士の会話が弾み、楽しい雰囲気に包まれている。

珈琲豆では、他店では見かけないベトナム産のファインロブスタ（深煎り）が人気。水洗い、乾燥させた穀物系の豆で、まろやか、あと口スッキリが特徴。100g800円。珈琲豆は8種類で毎月入れ替わる。

フードでは、「いつでもモーニング」（1300円）が人気。厚切りトースト、サラダ、フルーツなど8種類がまとめられた栄養バランスが整ったワンプレートランチ。終日注文が可能。

高石小学校とコーヒーの木プロジェクト「TCP」も展開。ベトナム産の豆が発芽、「うまく行けば、来年も実がなるかも知れません」と、期待している。

ライフサイエンス特化型！

中之島クロス内に「O−Nexus」を開設

日本生命保険相互会社は、5月28日に大阪・中之島の未来医療国際拠点「中之島クロス」内にライフサイエンス特化型のイノベーション発進基地「O−Nexus（オーネクサス）」を開設した。日生がビジネス支援施設に取り組むのは初めて。大阪からライフサイエンスビジネスを発進する。

日本生命保険

大阪市北区中之島4丁目の中之島クロス未来医療R&Dセンターの8−9階にある。

延べ床面積は3100㎡で、プライベートオフィス、コワーキングスペース、会議室、WEB会議用フォーンブース（車椅子ブースを含む）で構成。

「スタッフ約10人が常駐し海外ネットワークも支援します。他拠点とオンラインで接続し、まるで隣にいる感覚でコミュニケーションが取れるような会議室システムの準備を進めています」と、椎野友介ヘルスケアアライアンス担当部長。こうした全ての付帯サービスが月額料金に含まれており、追加料金は不要。

全体では約200社の参画を目指しており、現在、ライフサイエンス分野の利用企業・団体を募集中。「ここを拠点に健康増進に関わるビジネスをサポートしたい」と話している。

イノベーション発進基地

元気！パソナ 万博レガシーを兵庫県淡路島へ継承

オランダパビリオン「A New Dawn」の譲渡契約を締結

PASONA

パソナグループは、2025年大阪・関西万博に出展されたオランダパビリオン「A New Dawn」について、6月29日付で、同パビリオンの設計・建設を担った建築コンソーシアムAND B.V.と譲渡契約を締結。今後、同パビリオンを兵庫県・淡路島へ移設し、淡路島で働くパソナグループ社員が集うシンボリックなオフィスとして活用する。

2025年大阪・関西万博に出展したオランダパビリオンのテーマは、共に分かち合い、新しい価値を生み出す「コモングラウンド（共創の礎）」。循環型コンセプトのもと建築されたパビリオンは、建物の中央に浮かび、光る球体が象徴的なデザインで、持続的に利用可能なエネルギーと「日の出」を表現していた。「オーブ」という球体のインタラクティブデバイスを用いて、様々な展示と対話しながら、再生可能エネルギーや循環型経済、ライフサイエンス等における未来のライフスタイルの探求体験を提供し、のべ120万人が来場した。

パソナグループは万博のレガシーとして、オランダパビリオンの再利用に向けた基本合意契約を2025年4月25日に締結。同年5月20日には、その移築先として兵庫県・淡路島を予定していることを発表していた。

そしてこの度、同パビリオンの譲渡契約締結式を6月29日に開催し、淡路市夢舞台サスティナブル・パークへ移設すると発表した。

建物は、構想段階より再利用可能な設計となっており、パビリオンで紡がれた想いとともにパソナグループが継承。今後、淡路島の新たな地域活力の創造を図る取り組み『オフィス・プロジェクト』の一環として、淡路島で働くパソナグループ社員が集うシンボリックなオフィスへと生まれ変わる予定だ。

連載 “夢”やってみなはれ会開催

仮設トイレで社会を変える！

関西発仕事コンソーシアム（略称やってみなはれ会）はこのほど、大阪市北区の富国生命ビルで第135回の例会を開催。ビー・エス・ケイの三谷彰則社長が、「快適な仮設トイレで社会を変える！」をテーマに講演。長く居たい超快適仮設トイレをアピールした。

長く居たい超快適トイレ実現
ビー・エス・ケイの三谷彰則社長が講演

ビー・エス・ケイは大阪市中央区に本社を置き、創業は2000年9月。月産100棟の仮設トイレを生産。従来の狭い、臭い、汚い、用を足せばすぐに出たいという仮設トイレから、広くて長く居たい超快適な仮設トイレを実現。土台の便槽は大容量で約600回使用できる。

「全ての人に快適なトイレを目指しています。トイレで売上げアップになります。行政ももっと仮設トイレの重要性に気づいて欲しい」と話していた。

◆**5月の実質賃金1・4％増…**厚生労働省は5月の毎月勤労統計調査を発表した。労働者1人あたりの実質賃金は前年同月比1・4％増となり、5カ月連続のプラスになった。物価上昇が鈍化、給与の伸びが上回った。

◆**5月経常黒字4兆円弱…**財務省が発表した5月の国際収支統計によると、経常収支は3兆9683億円の黒字となった。16カ月連続の黒字で、黒字幅は前年同月に比べ6478億円拡大した。貿易収支の黒字化が要因。

農産事業に本格参入

液体調味料を展開する富貴食研（☎072・631・8075）は、大阪府豊能町で農産事業に本格参入する。オーガニック、無農薬など有機農業を目指し、現在2・6㌶で米づくり、玉ねぎなどを生産、10年後にも100㌶に拡大し、原料野菜からの安心安全な一貫生産体制を確立したい考えだ。

も多く、楽しんでいます」と。

耕作放棄地も多く、周辺の農家からも協力して欲しいと声が相次ぎ、「このままでは日本の食がダメになると食糧危機を痛感、原料の安定供給を真剣に考え始めました」と、岡田社長。3年目から2・6㌶へ拡大し農産事業部を発足して、お米、ニンニク、玉ねぎなどを生産。

10年後にも100㌶に拡大

液体調味料を展開する 富貴食研

無農薬など有機農業を目指す

原料から安心安全 一貫生産体制を確立

有機JAS認定を目指して有機農法での野菜づくりに取り組む。また、トラクター、田植え機、苗植え機などを導入して機械化を進める。「農業専任の社員もいます。いろんな機械を操作し省力化したい」と、5−6年後にも50㌶へ、さらに10年後には100㌶まで拡大を計画。

原料供給から一貫したオーガニック体制を構築し、安心安全の食のニーズに対応したい計画だ。

大阪府茨木市東太田に本社工場を置く。昭和45年に地ソース会社として創業。その後、液体調味料の開発・製造・加工及び販売。OEM生産加工、無添加・オーガニック商品の製造販売。

ドレッシングや玄米ポタージュなど、美味しく安心で健康や環境にやさしい調味料が人気を呼ぶ。年商は6億円で従業員は約30人。「コロナ禍を機に豊能町の約300坪で農業を始めました。農業初めてのスタッフ

介護ヘルパーのいる引越屋さん

くらすむーぶ（☎06・6682・1359）は、運送業から“介護ヘルパーのいる引越屋さん”へ、高齢者向けの生活支援サービスを行う。全国運送業を巻き込み事業を拡大、今では売り上げの過半数を生活支援サービスが占め、長く続く会社を目指す。

現在、従業員は8人。ドライバーの資格だけでなく、介護職員初任者研修修了者、整理収納アドバイザー、クリンネスト、介護環境整理アドバイザー、遺品整理士など多彩な資格を持つのが強み。

長く続く会社を目指す

今では、売り上げの5割が高齢者生活関連支援事業で、一般貨物用運送事業を上回る。2024年から高齢者の片付けと掃除の家事サービスにも本格進出した。

くらすむーぶ

大阪市住之江区泉1丁目に本社を置く。1981年に赤帽木村運送店として開業。「父が創業し、将来の成長を考え第2の柱として引越事業を開始。ただ、何か特色を出さなければと思いました」と、2代目の宮高豪社長。

宮高社長は、銀行勤務の経験から今後高齢者サービスの市場が拡大すると分析。自らヘルパー資格を取得、2005年から高齢者向けの物流・サービス業に取り組む。

在宅から介護施設への引越、不用品の整理、遺品整理まで事業を拡大、2000件以上の実績を持つ。一般社団法人住むーぶ全国協議会を設立、運送業を中心に25社が加盟し、相互交流を深めている。

高齢者向けの生活支援サービス

最近では、全国の地域包括支援センター向けに教育・研修事業にも取り組む。「今後、家の解体、不動産、不用品の輸出事業も考えたい。2035年には、年商3億円を計画、生活関連事業で8割を目指したい」と話している。

ヒットを飛ばす

原料屋ドットコム（☎072・697・2266）は、アセロラ、ヒシ茶、酵素などの新規サプリメントがヒットを飛ばす。製造と販売を別会社で行い、暮らしのニーズにマッチした新商品を毎月開発、オーガニック、無添加で元気経営を進める。

大阪府高槻市塚原5丁目に本社ビルを持つ。1階には、生産会社のアースシップがあり、クリーンルームを完備して粉末原料などを生産。一方、原料屋ドットコムは、アースシップから仕入れた商品を検品、個装してWEBで販売する。

原料屋ドットコム

素材を選択し、添加剤など不要なものは入れない純粋な原料にこだわる。オーガニック、ピュアな健康食品を提供、全品オリジナルの自社商品が強みだ。

アセロラ、ヒシ茶、酵素など

「今年の3月から絶好調な販売状況です。売れ過ぎて商品の安定供給に苦労しています」と嬉しい悲鳴をあげるのは野間康史社長。その商品とは、アセロラ、ヒシエキス、酵素など。

「テレビやSNSでお肌がツルツル、ダイエットなどの情報発信でバズってくれました。欠品しない生産体制を整えています」と。米ぬかと麹菌だけで作った「酵素」、「有機アセロラ粉末ビタミンC」、トウビシ果皮抽出エキスカプセル「ヒシエキス」などが絶好調だ。

新商品を毎月開発

「何が売れるか分かりません。アンチエイチングなど私が飲みたいものに力を入れています」と笑う。仕入れ先、取引先だけでなく、趣味仲間など外部スタッフを巻き込んで開発、50種類を超えるサプリメントを提供する。今年は昨年より3000万円アップの1億5000万円の売り上げを見込んでいる。

屋外作業に巨大日陰を提供

翔栄（☎06・4950・5850）は、幅5m×横25mのエリアを日陰にできるテントユニット「フレキシブルシェード」を開発、発売した。ユニットを組み合わせると、巨大な日陰をつくることができ、真夏、屋外作業での熱中症対策の大きな武器になりそうだ。

熱中症対策の大きな武器

テント倉庫の翔栄

尼崎市次屋3丁目に本社工場を置く。32年前に迫田浩二社長が創業、平成7年に法人化した。テント倉庫を営業から製作、施工、引き渡し、メンテナンスまでの一貫体制を構築するのが強み。

年商は約7億5000万円で、従業員は18人。海外戦略にも積極的で、インドネシアではテントの縫製工場に続き、「現在は鉄骨工場を建設中で今年10月にも完成し、11月にも本格稼働する計画です」と、迫田社長。

テント倉庫以外の新製品の開発にも取り組み、業界初の誰でも簡単にシートを降ろし取り外せる機構を備えた大型日よけテントを開発、発売した。門型ユニットとメッシュテント生地、ワイヤーなどで構成。1ユニットで25m×5mの日陰がつくれ、ユニットを組み合わせるとさらに大きなエリアを日陰にできる。

「フレキシブルシェード」開発

地元の園田愛児園にも導入、13m×13mの園庭をすっぽり日陰にし、猛暑の今夏喜ばれている。テントシートは特殊な金具で簡単に取り外しができ、ワイヤーも地上に下ろせる構造で、台風や大雪シーズンにはしまえて便利。特許を取得済み。価格は1ユニットで1000万円から。工期は約1カ月を予定。「屋外作業の多い会社だけでなく、学校、公園、イベント広場など幅広い用途がありそうです」と、拡販に期待している。

日本一明るい経済電波新聞 出演企業のアーカイブも聴ける！ ON AIR akaruimbs1179 @akaruiMBS1179 元気な中小企業を応援 読んで聴ける!! 明るい関西経済の未来 VEGETABLE OIL INK

衰めるエックス 竹原編集長が最新の衰める“つぶやき”を投稿!! 明るくおもろいネタがありまっせ!! https://twitter.com/nobuo_takehara